

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

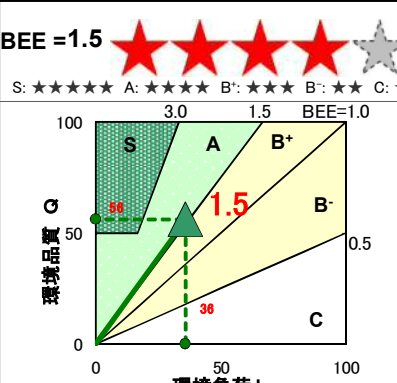
■ 使用評価マニュアル: CASBEE さいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEE さいたま2016ver.2.0

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	運転免許本部高齢者講習施設(仮称)	階数	地上2F		
建設地	さいたま市岩槻区大字馬込十番2100番5	構造	RC造 一部S造		
用途地域	無指定(市街化調整区域)	平均居住人員	300 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	3,430 時間/年(想定値)		
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年3月22日		
敷地面積	42,720 m ²	作成者	株式会社 松下設計		
延床面積	6,275 m ²	確認者	株式会社 松下設計		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

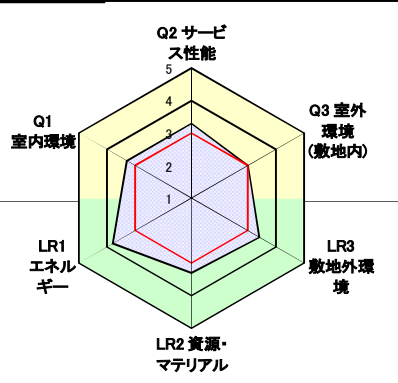
★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	79%
③上記+②以外の	79%
④上記+	79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

音環境	2.8
温熱環境	3.0
光・視環境	3.6
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

機能性	3.1
耐用性	3.3
対応性	3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.2
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

水資源	3.4
非再生材料の使用削減	3.4
汚染物質回避	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

地球温暖化への配慮	3.8
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合 高い外皮性能および高効率な設備システムを採用し、環境負荷の低減に配慮している。		—
Q1 室内環境 屋光率が高く、室内が明るくなるように配慮している。全面禁煙としている。	Q2 サービス性能 内装仕上げにおいて、20年以上の耐久性を有する内装仕上げ材を採用し、部材の耐用性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に自生種の保全に配慮した緑地づくりを行うように計画している。
LR1 エネルギー 省エネルギーに配慮し、LED照明などの高効率な設備システムを採用し、環境負荷の低減に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 水資源保護に配慮し、自動水栓などの節水型水栓や節水型大便器を採用している。	LR3 敷地外環境 交通負荷の抑制に配慮し、駐輪場、駐車場を確保し、バス停の新設を予定している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEEさいたま2016年版
運転免許本部高齢者講習施設(仮称)

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版
 ■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.2
Q1 室内環境					0.40		-		3.3
1 音環境				2.8	0.15	-	-		2.8
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				2.6	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.30	3.0	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.30	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				1.0	0.20	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20	3.0	-		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-		3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.60	3.0	-		
2 外皮性能				3.0	0.40	3.0	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	-	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				3.6	0.25	-	-		3.6
3.1 昼光利用				4.2	0.30	-	-		
1 昼光率		昼光率 2.77%		5.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口				-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策				4.0	0.30	-	-		
1 昼光制御		ブラインドと庇を組み合わせてグレアを制御する。		4.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境				3.7	0.25	-	-		3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆や規制対象外となる建築材料をほぼ全面的に採用している。		4.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気				3.0	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.3
1 機能性				3.1	0.40	-	-		3.1
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.5	0.30	-	-		
1 広さ感・景観				2.0	0.50	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-		
3 内装計画		建物全体のコンセプトが明確であり、計画に反映されている。		5.0	0.50	-	-		
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.3	0.30	-	-		3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		建築基準法に定められた25%増しの耐震性を有する。		4.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		20年以上の耐久性を有する内装仕上げ材を採用している。		5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				1.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.7	0.30	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高4.2~4.5m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.12 空間の形状・自由さにゆとりがある。	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		積載荷重 2,900~3,500N/m ² (講習室、廊下・待合ホール)	4.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.62	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.68	4.2	0.50	-	-	4.2
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水濾過装置を設置し、雨水利用している。	4.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床シート、ビニル床タイル、カーペット、断熱材	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		分別が可能な部材 RC造躯体+塗装仕上	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		対象物質を含有しない建材種別を2つ採用している。	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物と比較し21%削減されている。	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な駐車場、自転車置場を確保し、バス停の新設を計画している。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	
1	騒音		-	-	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.67	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.33	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	外に漏れる光への対策を行っている。	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	